

全日本企業対抗ゴルフトーナメントダブルスクランブル大会ルール  
～全予選・全国決勝大会共通～

1. ゴルフ規則

大会ローカルルール及び日本ゴルフ協会（JGA）2019 ゴルフ規則を適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

3. 使用球についての規格及び規則

R&A 公認球リストを採用する。ワンボール条件は適用しない。

4. キャディとカート

各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。（徒歩プレーの会場除く）  
大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。違反があった各ホールに対し2打。ただし、1ラウンドにつき最高4打まで。

4-2. セルフプレーの会場

キャディ付でない場合、カートのリモコンは、組合せ表の

1 番の選手は 1 番目のホールから 5 番目のホールカートのリモコンを操作する。

2 番の選手は 6 番目のホールから 9 番目のホールカートのリモコンを操作する。

3 番の選手は 10 番目のホールから 13 番目のホールカートのリモコンを操作する。

4 番の選手は 14 番目のホールから 18 番目のホールカートのリモコンを操作する。

但し、各組お互い協議の上でリモコンを操作する方法を決めても構わないものとする。

5. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。

（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）

6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定

■全チームが9ホールズを消化している場合→競技成立

■全チームが9ホールズを消化していない場合→競技不成立

本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。

- ・ チームスコア 9 ホールズの合計で、OUT、IN それぞれの順位を決定いたします。
- ・ チームスコアが同スコアの場合は 9 番目にプレーしたホールからのカウントバックで決する。

**※短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィーの減額は有りませんので予めご了承ください。**

#### 7. アドバイス

プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合には J G A ゴルフ規則 10.2 によりそのホール 2 罰打を付加する。

#### 8. 第 2 の球をプレーする場合の処置

ルールに疑問のある場合、1 ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第 2 の球をプレーすることができる。第 2 の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。※第 2 の球の処置をした場合は 2 つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。

#### 9. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間にて、指定練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

#### 10. メンバー変更について

出場メンバーは最初の予選通過時のメンバーから大会全体を通して 1 名までの変更が可能。

#### 11. クラブ及び用具に関して

JGA 用具規則および適合球リスト・適合ドライバーヘッドリストの条件を満たしているクラブを使用すること。

※「クラブフェースの溝に関連する規則」については本大会では採用しない。

## 1 2. 距離測定機について

距離測定器の使用は認める。

但し、勾配や風速・風向を計測する機能を有する機器の使用は認めない。

例) レーザー距離測定器で高低差が表示されるもの→使用不可(勾配を計測している)

例) スマホ等携帯電話アプリの使用は、距離測定機能の他の分析機能を有する機種が多く疑わしい行為となり、他の選手の気を散らす原因になるので禁止とする。

## 1 3. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

特設ティの使用は各会場の大会ローカルルールで定める。

## 1 4. コールオン(後続組先打たせ)方式については、やむを得ない場合は大会運営事務局の指示のもと使用できるものとする。

## 1 5. プレー速度における規則(重大なマナー違反)

プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。

なお、1ホールのプレーを終えたあと次のティーインググラウンドからプレーするまでの間もプレーを不当に遅らせてはならない。

JGA 規則 5-6a の違反の罰:

最初の違反: 1 罰打。

2 回目の違反: 2 罰打。

3 回目の違反: 失格。

※通常、前の組との間隔は 10 分以内です。

## 1 6. タイスコア時の決勝方法

■タイスコアの場合は OUT、IN などのスタート順に関わらず

18 番ホール(スコアカードの最後のホール)よりカウントバックで決する。

※それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。

## 1 7. 全国決勝が競技不成立になった場合

■全国決勝大会において、険悪な気象条件等で競技不成立と判断された場合、改めて日程を定め、開催する。

## 18. チーム編成とティショットの制限

ティショットにおいて18ホール（Par3 含）ラウンド中、1人5ホール以上のティショットを選択しなければならない。チーム内のパートナーの1人が欠場した場合は、1人5ホールのティショットを選択する条件は適用しない。欠場していたパートナーが途中出場、または途中棄権した場合、そのパートナーが最低5ホールのティショットを選択する条件をクリアしていれば、罰打は課さない。

### 19.1 ペア2名がティショットを打ち、セカンドショット以降はベストポジションと

思われるボールを選択し、その地点から2人が打つ。これをカップインまで繰り返す。カップインした時点でスコアは確定する。

※先の打順のプレーヤーのショット又はパットがカップインし、スコアは確定した場合は、以降の打順のプレーヤーがショット又はパットをすることができない。

## 20. ティショット～グリーン

1. ティショットは1ペア2名が打つ（男性と女性はティが異なる）
2. セカンドショット以降はペアのベストポジションと思われるボールを選択する。
3. 選択したベストポジションにマークをする。そのマークからホールに近づかない半径30cmの半円の中に自分のボールをプレースし、ペア2名が打つ。
4. 打順はペア内で決めることができる。
5. バンカー内のボールを選択した場合は1人が打つごとにそのバンカーは均すことができる。
6. マークは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないこと。
7. マークを誤って取り除いてしまった場合、無罰でマークをもとの位置に戻してプレーを再開しなければならない。

## 21. グリーン上

1. グリーン上でも採用するボールを選択する。
2. そのボールをマークし、ホールへ近づかない半径15cmの半円内にボールをプレース。
3. ペア内がカップインした時点で、そのホールのスコアが確定。
4. マークは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないこと。
5. マークを誤って取り除いてしまった場合、無罰でマークをもとの位置に戻してプレーを再開しなければならない。

令和元年7月17日

全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
競技委員会